

# きそ ネット



水と緑の  
ふるさとづくり

第36号

発行/平成25年6月25日  
長野県木曾広域連合

## レジ袋無料配布中止を推進します

### 木曾地域レジ袋無料配布中止推進宣言 調印式



4月10日(水)に、木曾郡6町村長により「木曾地域レジ袋無料配布中止推進宣言」がなされ、調印式が行われました。

これは、郡内小売店でのレジ袋無料配布中止を推進し、消費者にマイバッグ持参の呼び掛けを行うことを、全郡で取り組むとして表明したものです。

木曾郡内では、以前

から小売店の独自の取り組みとして、レジ袋を配布せずマイバッグでの買い物を進める活動が行われて来ています。

6月上旬には、郡内の大型小売店2者、消費者団体、郡内町村長による「木曾地域におけるレジ袋の無料配布中止に関する協定書」の調印が取り交わされ、6月24日からレジ袋削減に新たに取り組むこととなりました。

石油製品であるレジ袋を削減することで、省資源化が図られるとともに、ごみの減量につながり、環境への負担軽減が図られます。

住民の皆様には、地球温暖化防止や自然環境を守る運動の一環となるレジ袋削減の取り組みに、ご理解とご協力をいただき、買い物にマイバッグをご持参いただきますようお願いいたします。

#### CONTENTS

議会だより	.....2
平成の名古屋市民の森づくり	.....2
木曾川「水源の森」森林整備事業	.....3
信州木曾看護専門学校	.....4



# 木曾広域連合議会だより

## 第1回臨時会(平成25年3月25日)

▼議案審議では、議会議決事項1件、平成24年度補正予算1件がそれぞれ審議され、原案どおり可決されました。

## 第2回定例会(平成25年5月27日)

▼議案審議では、平成24年度一般会計補正予算専決処分事項の承認が1件、議決事項が1件、条例の一部改正が3件、平成25年度補正予算が2件、平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告が1件、それぞれ審議され、原案どおり可決されました。

## 第5回「平成の名古屋市民の森づくり」



さる5月11日、「平成の名古屋市民の森づくりin木曾」が開催され、名古屋市民約120人が木曾町戸立町有林を訪れ、植樹活動を行いました。

この活動は、名古屋城本丸御殿復元にあたり木曾ヒノキが材料として使用されることから、木材の産地である木曾地域の豊かな自然環境を将来に残そうと、平成21年から10年計画で植樹・育樹を実施しているものです。これまでに約1.8haの森林に植樹を行いました。

この日は名古屋市民のほか、入倉副市長をはじめとする名古屋市職員、地元からは郡内6町村、3森林組合、長野県木曾地方事務所、木曾森林管理署、木曾広域連合などの関係機関、地域のボランティアの皆さんのご協力をいただき、約0.5haの森林にヒノキや広葉樹の苗木合計600本余りを植樹しました。当日は、あいにくの雨となりましたが、参加者一同、木々が大きく育つことを願いながら、1本ずつ丁寧に苗木を植えました。

作業終了後は2つの班に分かれ、木祖村の散策や植樹に関するレクリエーションゲームなどを楽しみました。

なお、名古屋城本丸御殿は第1期工事が完了し、5月29日から玄関と表書院が一般公開されています。名古屋へお出かけの際には、是非ご覧になってみてください。



名古屋城本丸御殿 玄関



# 木曾川「水源の森」森林整備事業について

平成15年2月に木曾広域連合と愛知中部水道企業団（構成自治体：豊明市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町）の間で『木曾川「水源の森」森林整備協定』が締結され、平成17年度以降、双方で設置された基金により木曾郡内の森林整備を実施しています。

基金は、水道使用量1㎡あたり1円が積み立てられ、下記の事業に使われています。

## 1 「水源の森」森林整備協定造林事業

森林整備に係る森林所有者の負担を軽減し、水源地域の森林整備の促進を図るため、国・県からの補助に加え、双方の基金から費用の一部を負担しています。現在は、間伐又は除間伐が対象となっています。

※間伐……一定の種類の木が密集している場所で、その木をより大きく育てるために間引きを行う作業です。

※除間伐……様々な種類の木が生い茂っている場所で、特定の種類の木を優先して大きく育てるため、他種類の木や灌木などを切り払う「除伐」と前述の「間伐」を一緒に行う作業です。

対象となる森林は、所有者の要望を踏まえ町村や森林組合が作成した整備計画に位置付けられた森林で、緊急に間伐・除間伐が必要な約14,000haの民有林について整備が行われています。

これまでの整備面積及び事業費については、右の実績のとおりです。

これにより、従来整備が遅れていた森林と合わせて山全体の森林整備が進んでいます。

## 森林整備事業の実績

	合計(H17~24年度)	うちH24年度
整備面積 (ha)	6511.63	692.90
事業費 (円)	1,828,132,302	187,782,981
国・県補助 (円)	1,338,632,100	132,707,600
町村負担 (円)	266,739,957	27,803,061
下流基金 (円)	175,428,867	22,606,860
上流基金 (円)	32,018,179	2,960,940
所有者負担(円)	15,313,199	1,704,520

## 2 「森林整備ボランティアリーダー」の育成

愛知中部水道企業団管内の住民を中心に、ボランティアリーダーを養成しています。

一定の研修を修了された方は、木曾郡内で行われる森林整備活動において、植樹・育樹（下草刈り、枝打ちなど）の指導員として活躍しています。

## 3 下流域住民の森林整備活動参加

毎年6月の「木曾郡植樹祭」や9月の「水源の森応援隊」に、愛知中部水道企業団管内の住民の皆さんが参加し、上流域の皆さんと一緒に植樹・育樹活動を行い、交流を深めています。



森林整備作業について真剣に取り組む  
ボランティアリーダーの皆さん

豊かな緑に囲まれた、美しい木曾の山々と美味しい水を末永く残していくために、今後とも基金の積み立てと事業の実施にご理解とご協力をお願いします。



# 「信州木曾看護専門学校」開校のご案内

木曾町に、3年課程の看護専門学校が新たに設置されることとなり、平成26年4月の開校に向けた準備が着々と進められています。

学 校 名 : 信州木曾看護専門学校(3年課程)

場 所 : 木曾町新開4236番地(旧 木曾山林高校所在地)

運 営 : 長野県立病院機構(県立木曾病院などを運営する機関です。)

開 校 : 平成26年4月

※高等学校卒業以上(平成26年3月卒業見込み含む)の方が受験対象

募集要項: 8月中に公表の予定です。

学 費 : 授業料 年20万円 施設整備費 年2.5万円

入学金 5万円 (予定)

※その他、教科書・白衣代等の実費負担が必要です。

奨 学 金 : 長野県立病院機構 月5万円または8万円(選択可能)

木曾広域連合 月5万円

※それぞれに返済免除の制度があります。



郡内の皆さんに数多くご入学いただき、「信州木曾看護専門学校」で学んで、看護師として木曾地域の医療の担い手となっていただけるよう、木曾広域連合として継続的な支援を行っていきたくと考えています。

■木曾広域連合は木曾郡内町村で構成する特別地方公共団体です。

■本誌の記事または木曾広域連合の業務に関するお問い合わせ先

木曾広域連合事務局

〒399-6101長野県木曾郡木曾町日義 4898-37

総務課 地域振興課

TEL.0264-23-1050 FAX.0264-23-1052

健康福祉課

ホームページ <http://www.kisoji.com/kisokoiki>

議会事務局 会計室

E-メール [soumu@kisoji.com](mailto:soumu@kisoji.com)

建設課 TEL.0264-24-2228

環境課 TEL.0264-24-3131

情報センター TEL.0264-21-2212 (ケーブルテレビ・インターネット)

消防本部 TEL.0264-24-3119 北分署 TEL.0264-36-3119

消防署 TEL.0264-22-0119 南分署 TEL.0264-57-3119

救急分遣所 TEL.0264-46-3119

環境センター TEL.0264-52-2530 (浄化槽清掃)

木曾クリーンセンター TEL.0264-24-3131 (可燃ごみ・リサイクル)

TEL.0264-24-3141 (不燃ごみ)

木曾寮 TEL.0264-52-2054 (養護老人ホーム)

木曾文化公園 TEL.0264-23-8011 (文化ホール)



上記の電話は、木曾広域ケーブルテレビに加入しています。(建設課を除く)

下6ケタの前に\*\*を押してかければ料金がかかりません。